



DHCP オプション

DHCPは、TCP/IP ネットワーク上のホストに設定情報を渡すフレームワークを提供します。設定パラメータと他の制御情報は、DHCP メッセージのオプションフィールドに保存されているタグ付きデータ項目で伝送されます。データ項目自体もオプションと呼ばれます。

DHCP オプションには、オプションパラメータの規定された形式と許可値があります。[表 1: 数値による DHCPv4 オプション \(2 ページ\)](#) および [表 3: 番号順の DHCPv6 オプション一覧 \(22 ページ\)](#) リストには、各 DHCP オプションとパラメータの種類が表示されます ([検証] 列に表示されます)。パラメータの形式と許容値は、DHCP およびインターネット RFC から取得されます。すべての DHCP オプションが表示されますが、クライアントは一部のみを制御し、CLI は他のオプションのみを制御します。

次の表は、DHCP オプションをさまざまな方法で示しています。オプションは、数値、Cisco Prime Network Registrar 名別に並べ替えられたものです。

- [数値による DHCPv4 オプション \(1 ページ\)](#)
- [Cisco Prime Network Registrar 名別 DHCPv4 オプション \(15 ページ\)](#)
- [番号順の DHCPv6 オプション一覧 \(22 ページ\)](#)
- [Cisco Prime Network Registrar 名別 DHCPv6 オプション \(35 ページ\)](#)
- [オプションの検証タイプ \(40 ページ\)](#)

数値による DHCPv4 オプション

次の表は、オプション番号でソートされた DHCPv4 オプションと、検証タイプを示しています。[検証] 列に表示されるオプションの検証の詳細については、「[表 5: 検証タイプ \(41 ページ\)](#)」を参照してください。[検証]0+ 列の A は、0 以上のオカレンスの繰り返し数、1+ は 1 回以上のオカレンス、2n は、2 の倍数の複数のオカレンスを表します。



ヒント

サブオプションに対してより複雑なオプション・データ値を追加するための構文 [サブオプションの複雑な値の追加](#) については、を参照してください。

表 1: 数値による DHCPv4 オプション

番号	Cisco Prime Network Registrar 名	検証	説明
[0]	パッド	AT_NOLEN	後続のフィールドを語の境界で揃えるために使用します。RFC 2132 を参照してください。
1	subnet-mask	AT_IPADDR	サブネットマスクを指定します。RFC 2132 を参照してください。
2	time-offset	AT_STIME	クライアントのサブネットのオフセットを、協定世界時 (UTC) の秒単位で指定します。RFC 2132 を参照してください。
3	ルータ	AT_IPADDR (1+)	クライアントサブネット上のルータの IP アドレス一覧を指定します。RFC 2132 を参照してください。
4	time-servers	AT_IPADDR (1+)	クライアントが使用できる RFC 868 [6] のタイムサーバー一覧を指定します。RFC 2132 を参照してください。
5	name-servers	AT_IPADDR (1+)	クライアントで使用可能な IEN 116 [7] ネームサーバー一覧を指定します。RFC 2132 を参照してください。
6	domain-name-servers	AT_IPADDR	クライアントで使用可能なドメインネームシステム (STD 13、RFC 1035 [8]) ネームサーバー一覧を指定します。RFC 2132 を参照してください。
7	log-servers	AT_IPADDR (1+)	クライアントが使用できる MIT-LCS UDP ログサーバーの一覧を指定します。RFC 2132 を参照してください。
8	クッキーサーバー	AT_IPADDR (1+)	クライアントが使用できる RFC 865 [9] の Cookie サーバーの一覧を指定します。RFC 2132 を参照してください。
9	lpr サーバー	AT_IPADDR (1+)	クライアントが使用できる RFC 1179 [10] のラインプリンタサーバーの一覧を指定します。RFC 2132 を参照してください。
10	印象づけるサーバー	AT_IPADDR (1+)	クライアントが利用できる Imagen Impress サーバーの一覧を指定します。RFC 2132 を参照してください。

番号	Cisco Prime Network Registrar 名	検証	説明
11	リソース ロケーション サーバー	AT_IPADDR (1+)	クライアントが使用できる RFC 887 [11] リソースロケーションサーバーの一覧を指定します。RFC 2132 を参照してください。
12	host-name	AT_NSTRING	クライアントの名前を指定します。RFC 2132 を参照してください。
13	ブートサイズ	AT_SHORT	クライアントのデフォルトブートイメージの長さを 512 オクテットブロック単位で指定します。RFC 2132 を参照してください。
14	メリットダンプ	AT_NSTRING	クライアントがクラッシュした場合にクライアントのコアイメージをダンプするファイルのパス名を指定します。RFC 2132 を参照してください。
15	domain-name	AT_NSTRING	ドメインネームシステムを介してホスト名を解決するときにクライアントが使用するべきドメイン名を指定します。RFC 2132 を参照してください。
16	スワップサーバー	AT_IPADDR	クライアントのスワップサーバーの IP アドレスを指定します。RFC 2132 を参照してください。
17	root-path	AT_NSTRING	クライアントのルートディスクを含むパス名を指定します。RFC 2132 を参照してください。
18	拡張機能パス	AT_NSTRING	<p>TFTP 経由で取得可能なファイルを指定する文字列です。BOOTP 応答内の 64 オクテットのベンダー拡張フィールドと同じ方法で解釈できる情報が含まれますが、次の例外があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ファイルの長さが制約されていない。 • ファイル内のタグ 18 (つまり、BOOTP 拡張パスフィールドのインスタンス) へのすべての参照が無視されます。 <p>RFC 2132 を参照してください。</p>
19	ip-forwarding	AT_BOOL	クライアントが、パケット転送用の IP 層を設定する必要があるかどうかを指定します。RFC 2132 を参照してください。

番号	Cisco Prime Network Registrar 名	検証	説明
20	非ローカル ソースルーティング	AT_BOOL	クライアントが非ローカル ソースルートでデータグラムを転送できるように IP レイヤを設定するかどうかを指定します。RFC 2132 を参照してください。
21	ポリシー フィルター	AT_IPADDR (2n)	ローカル以外のソースルーティング用にポリシーフィルタを指定します。RFC 2132 を参照してください。
22	マックス・ドグラム再構成	AT_SHORT	クライアントが再構成するために準備する必要がある最大サイズのデータグラムを指定します。RFC 2132 を参照してください。
23	デフォルト-ip-ttl	AT_RANGEBYTE	クライアントが送信データグラムで使用するデフォルトの Time-to-Live (存続可能時間) を指定します。RFC 2132 を参照してください。
24	パス-mtu エージング タイムアウト	AT_TIME	RFC 1191 [12] で定義されているメカニズムによって検出されたパス MTU 値をエージングするとき使用するタイムアウト (秒単位) を指定します。RFC 2132 を参照してください。
25	パス-mtu-プラトー テーブル	AT_RANGESHORT (1+)	RFC 1191 で定義されているパス MTU ディスカバリーを実行するとき使用する MTU サイズの表を指定します。RFC 2132 を参照してください。
26	interface-mtu	AT_RANGESHORT	このインターフェイスで使用する MTU を指定します。RFC 2132 を参照してください。
27	すべてのサブネット ローカル	AT_BOOL	クライアントが接続先の IP ネットワークのすべてのサブネットが、クライアントが直接接続されているネットワークのサブネットと同じ MTU を使用すると仮定できるかどうかを指定します。RFC 2132 を参照してください。
36	broadcast-address	AT_IPADDR	クライアントサブネットで使用されているブロードキャストアドレスを指定します。RFC 2132 を参照してください。

番号	Cisco Prime Network Registrar 名	検証	説明
29	マスク検出の実行	AT_BOOL	クライアントが ICMP を使用してサブネットマスクの検出を実行するかどうかを指定します。RFC 2132 を参照してください。
30	マスクサプライヤー	AT_BOOL	クライアントが ICMP を使用してサブネットマスク要求に応答するかどうかを指定します。RFC 2132 を参照してください。
31	ルーター発見	AT_BOOL	クライアントが RFC 1256 [13] で定義されたルータ発見メカニズムを使用してルーターを要請するかどうかを指定します。RFC 2132 を参照してください。
32	ルーター勧誘アドレス	AT_IPADDR	クライアントがルータ要請を送信するアドレスを指定します。RFC 2132 を参照してください。
33	static-routes	AT_IPADDR (2n)	クライアントがルーティングキャッシュにインストールする静的ルートの一覧を指定します。RFC 2132 を参照してください。
34	トレーラーカプセル化	AT_BOOL	ARP プロトコルを使用する場合に、クライアントがトレーラ (RFC 893 [14]) の使用をネゴシエートするかどうかを指定します。RFC 2132 を参照してください。
35	arp-cache-timeout	AT_TIME	ARP キャッシュエントリのタイムアウト値 (秒単位) を指定します。RFC 2132 を参照してください。
36	ieee802.3-encapsulation	AT_BOOL	インターフェイスがイーサネットである場合に、クライアントがイーサネットバージョン 2 (RFC 894 [15]) または IEEE 802.3 (RFC 1042 [16]) カプセル化を使用するかどうかを指定します。RFC 2132 を参照してください。
37	デフォルト-tcp-ttl	AT_RANGEBYTE	TCP セグメントを送信するときにクライアントが使用するデフォルトの TTL を指定します。RFC 2132 を参照してください。
38	tcp キープアライブ 間隔	AT_TIME	クライアント TCP が TCP 接続でキープアライブメッセージを送信するまでに待機する間隔 (秒単位) を指定します。RFC 2132 を参照してください。

番号	Cisco Prime Network Registrar 名	検証	説明
39	tcp-キープアライブ ゴミ	AT_BOOL	クライアントが、古い実装との互換性のために、TCP キープアライブメッセージをゴミのオクテットで送信するかどうかを指定します。RFC 2132 を参照してください。
40	nis-ドメイン	AT_NSTRING	クライアントの NIS ドメイン名を指定します。RFC 2132 を参照してください。
41	nis-サーバー	AT_IPADDR (1+)	クライアントが使用できる NIS サーバーを示す IP アドレスの一覧を指定します。RFC 2132 を参照してください。
54	ntp-servers	AT_IPADDR (1+)	クライアントが使用できる NTP サーバーを示す IP アドレスの一覧を指定します。RFC 2132 を参照してください。
43	バンダーカプセル化 オプション	AT_BLOB	RFC 2132 を参照してください。
44	netbios-name-servers	AT_IPADDR (1+)	優先順位の高い順にリスト表示される RFC 1001/1002 [19][20] NBNS ネームサーバーのリストを指定します。RFC 2132 を参照してください。
45	ネットビオス-dd- サーバー	AT_IPADDR (1+)	優先順位の高い順にリスト表示される RFC 1001/1002 NBDD サーバーのリストを指定します。RFC 2132 を参照してください。
46	netbios-node-type	AT_RANGEBYTE	RFC 1001/1002 の説明に従って設定可能な NetBIOS over TCP/IP クライアントを設定できるようにします。RFC 2132 を参照してください。
47	ネットビオススコー プ	AT_NSTRING	RFC 1001/1002 で指定されたクライアントの NETBIOS over TCP/IP スコープパラメータを指定します。RFC 2132 を参照してください。
48	フォントサーバー	AT_BLOB (1+)	クライアントで使用可能な X Window システム [21] フォントサーバーの一覧を指定します。RFC 2132 を参照してください。
49	x ディスプレイマ ネージャー	AT_BLOB (1+)	X Window システムのディスプレイマネージャを実行し、クライアントが使用できるシステムの IP アドレスの一覧を指定します。RFC 2132 を参照してください。

番号	Cisco Prime Network Registrar 名	検証	説明
50	dhcp-requested-address	AT_BLOB	クライアント要求 (DHCPDISCOVER) で使用され、クライアントが特定の IP アドレスを割り当てるように要求できるようにします。RFC 2132 を参照してください。
51	dhcp リース時間	AT_TIME	クライアント要求 (DHCPDISCOVER または DHCPREQUEST) で使用すると、クライアントは IP アドレスのリース時間を要求できます。RFC 2132 を参照してください。
52	dhcp オプション過負荷	AT_OVERLOAD	DHCP の「sname」フィールドまたは「file」フィールドを使用して DHCP オプションを実行することにより、これらのフィールドがオーバーロードされていることを示すのに使用されます。RFC 2132 を参照してください。
53	dhcp-message-type	AT_MESSAGE	DHCP メッセージのタイプを伝送するために使用されます。RFC 2132 を参照してください。
54	DHCP サーバー識別子	AT_IPADDR	メッセージを DHCP OFFER および DHCP 要求で使用し、オプションで DHCPACK および DHCPNAK メッセージに含めることができます。RFC 2132 を参照してください。
55	dhcp パラメータ要求 - リスト	AT_INT8 (0+)	DHCP クライアントが、指定した構成パラメータの値を要求するために使用します。RFC 2132 を参照してください。
72	dhcp メッセージ	AT_NSTRING	障害が発生した場合に DHCPNAK メッセージで DHCP クライアントにエラーメッセージを提供するために DHCP サーバーによって使用されます。RFC 2132 を参照してください。
57	メッセージサイズ	AT_SHORT	受け入れ可能な DHCP メッセージの最大長を指定します。RFC 2132 を参照してください。
58	dhcp 更新時間	AT_TIME	アドレス割り当てからクライアントが更新状態に移行するまでの時間間隔を指定します。RFC 2132 を参照してください。
59	dhcp 再バインド時間	AT_TIME	アドレス割り当てからクライアントが再バインディング状態に移行するまでの時間間隔を指定します。RFC 2132 を参照してください。

番号	Cisco Prime Network Registrar 名	検証	説明
60	dhcp-class-identifier	AT_NSTRING	DHCP クライアントが必要に応じて使用し、DHCP クライアントのベンダータイプと設定を識別することができます。RFC 2132 を参照してください。
61	dhcp-client-identifier	AT_BLOB	DHCP クライアントは、一意の ID を指定するために使用します。RFC 2132 を参照してください。
62	ネットワークアップドメイン	AT_NSTRING	Netware/IP 製品で使用される NetWare/IP ドメイン名を伝送するために使用されます。RFC 2242 を参照してください。
63	ネットワーク情報	AT_BLOB	NetWare/IP ドメイン名を除く、すべての NetWare/IP 関連情報を伝送するために使用されます。RFC 2242 を参照してください。
64	nis+ドメイン	AT_NSTRING	クライアントの NIS ドメイン名 [17] を指定します。RFC 2132 を参照してください。
65	nis+サーバー	AT_IPADDR (1+)	クライアントが使用できる NIS+ サーバーを示す IP アドレスの一覧を指定します。RFC 2132 を参照してください。
66	tftp-server	AT_NSTRING	DHCP ヘッダーの sname フィールドが DHCP オプションに使用されている場合に、TFTP サーバーを識別するのに使用します。RFC 2132 を参照してください。
67	boot-file	AT_NSTRING	DHCP ヘッダーの file フィールドが DHCP オプションに使用されている場合に、ブートファイルを識別するのに使用します。RFC 2132 を参照してください。
68	モバイル-ip-ホームエージェント	AT_IPADDR (0+)	クライアントが使用できるモバイル IP ホームエージェントを示す IP アドレスの一覧を指定します。RFC 2132 を参照してください。
69	smtp-servers	AT_IPADDR (1+)	クライアントが使用できる SMTP サーバーの一覧を指定します。RFC 2132 を参照してください。
70	pop3-servers	AT_IPADDR (1+)	クライアントが使用できる POP3 の一覧を指定します。RFC 2132 を参照してください。

番号	Cisco Prime Network Registrar 名	検証	説明
71	nntp サーバー	AT_IPADDR (1+)	クライアントが使用できる NNTP の一覧を指定します。RFC 2132 を参照してください。
72	www サーバー	AT_IPADDR (1+)	クライアントが使用できる WWW の一覧を指定します。RFC 2132 を参照してください。
73	指サーバー	AT_IPADDR (1+)	クライアントが使用できる Finger の一覧を指定します。RFC 2132 を参照してください。
74	ircサーバー	AT_IPADDR (1+)	クライアントが使用できる IRC の一覧を指定します。RFC 2132 を参照してください。
75	ストリートトークサーバー	AT_IPADDR (1+)	クライアントが使用できる StreetTalk サーバーの一覧を指定します。RFC 2132 を参照してください。
76	ストリートトークディレクトリ-アシスタンスサーバー	AT_IPADDR (1+)	クライアントが使用できる STDA サーバーの一覧を指定します。RFC 2132 を参照してください。
77	dhcp-user-class-id	AT_TYPECNT	DHCP クライアントがユーザーまたはアプリケーションの種類やカテゴリをオプションで識別するのに使用します。RFC 3004 を参照してください。
78	slp-ディレクトリ-エージェント	AT_BLOB	1つ以上の SLP ディレクトリエージェントの場所を指定します。RFC 2610 を参照してください。
79	slp サービス スコープ	AT_BLOB	SLP エージェントが使用するように設定されている範囲を示すカンマ区切りのリスト。RFC 2610 を参照してください。
80	rapid-commit	AT_ZEROSIZE	アドレス割り当てに2つのメッセージ交換を使うことを示すために使用します。RFC 4039 を参照してください。
81	client-fqdn	AT_BLOB	クライアント FQDN オプション。RFC 4702 を参照してください。
82	relay-agent-info	AT_BLOB	エージェントが提供する特定のサブオプション用の「コンテナ」オプション。サブオプションについては、表3を参照してください。RFC 3046 を参照してください。

番号	Cisco Prime Network Registrar 名	検証	説明
83	iSNS	AT_BLOB	プライマリサーバー、バックアップ iSNS サーバー、および iSNS クライアントで使用可能な iSNS サービスの場所を指定します。RFC 4174 を参照してください。
85	nds-サーバー	AT_IPADDR (1+)	NDS データベースにアクセスするためにクライアントが接続する1つ以上のNDSサーバーを指定します。RFC 2241 を参照してください。
86	nds ツリー	AT_NSTRING	クライアントが接続する NDS ツリーの名前を指定します。RFC 2241 を参照してください。
87	nds コンテキスト	AT_NSTRING	クライアントが使用する 初期 NDS コンテキストを指定します。NDS コンテキストは 16 ビットの Unicode 文字列です。RFC2241 を参照してください。
88	bcmcs サーバー-d	AT_DNSNAME (1+)	DHCPv4 のブロードキャストおよびマルチキャストドメインネームサービスリスト。RFC 4280 を参照してください。
89	bcmcs-サーバー-a	AT_IPADDR (1+)	DHCPv4 のブロードキャストおよび IPv4 アドレスオプション。RFC 4280 を参照してください。
90	認証	AT_BLOB	DHCP 認証オプションRFC 3118 を参照してください。
91	lq-client-last-transaction- time	AT_TIME	受信者は、クライアントの最新のアクセス時刻を確認できます。RFC 4388 を参照してください。
92	lq- 関連付け-ip	AT_IPADDR (1+)	特定の DHCPLEASEQUERY メッセージで指定された DHCP クライアントに関連付けられているすべての IP アドレスを返すのに使用されます。RFC 4388 を参照してください。
93	pxe クライアントアーチ	AT_SHORT	クライアントシステムアーキテクチャの種類オプションの定義。RFC 4578 を参照してください。

番号	Cisco Prime Network Registrar 名	検証	説明
94	pxe クライアント ネットワーク ID	AT_BLOB	クライアント ネットワーク インターフェイス識別子オプションの定義。RFC 4578 を参照してください。
95	ldap-url	AT_NSTRING	LDAP サーバー。RFC 3679 を参照してください。
97	pxe クライアント-マ シン ID	AT_BLOB	クライアントマシン識別子オプションの定義。RFC 4578 を参照してください。
98	ユーザー認証	AT_NSTRING	URL のリストを指定します。各 URL は、ユーザー認証プロトコル (UAP) でカプセル化された認証要求を処理できるユーザー認証サービスを指します。RFC 2485 を参照してください。
99	ジオコンフィシビッ ク	AT_BLOB	DHCP シビック ロケーション オプション。 RFC 4776 を参照してください。
100	ポシックタイム ゾーン	AT_NSTRING	IEEE 1003.1 TZ 文字列 RFC 4833 を参照してください。
101	tzdb タイムゾーン	AT_NSTRING	TZ データベースへの参照。RFC 4833 を参照してください。
108	ipv6-only-preferred	AT_INT	IPv6 専用優先オプション。RFC 8925 を参照してください。
109	dhcp4o6-s46-saddr	AT_IP6ADDR	DHCP 4o6 ソフトワイヤ ソース アドレス オプション。RFC 8539 を参照してください。
112	ネットインフォ親 サーバーアドイン	AT_IPADDR	Netinfo アドレス。RFC 3679 を参照してください。
113	ネットインフォ親 サーバータグ	AT_NSTRING	Netinfo タグ。RFC 3679 を参照してください。
114	captive-portal	AT_NSTRING	DHCP キャプティブポータルオプション。 RFC 8910 を参照してください。
116	auto-configure	AT_RANGEBYTE	ローカルサブネットで自動設定を無効にするかどうかを確認し、通知する場合に使用します。RFC 2563 を参照してください。
117	ネームサービス検索	AT_SHORT (1+)	ネームサービス検索オプション。RFC 2937 を参照してください。

番号	Cisco Prime Network Registrar 名	検証	説明
118	subnet-selection	AT_IPADDR	サブネット選択オプション。RFC 3011 を参照してください。
119	ドメイン検索	AT_DNSNAME (1+)	ドメイン検索オプション。RFC 3397 を参照してください。
120	sip-servers	AT_BLOB	SIP サーバー DHCP オプション。RFC 3361 を参照してください。
121	クラスレス静的ルート	AT_BLOB	クラスレスルートオプション。RFC 3442 を参照してください。
122	ケーブルラボ-クライアント-コンフィギュレーション	AT_BLOB	CableLabs クライアント設定オプション (表 3 を参照してください)。RFC 3495 を参照してください。
123	ジオコンフェ	AT_BLOB	DHCPv4 ジオコンプオプション。RFC 6225 を参照してください。
124	v-i-ベンダークラス	AT_VENDOR_CLASS	ベンダー識別ベンダークラスオプション。RFC 3925 を参照してください。
125	v-i-vendor-opts	AT_VENDOR_OPTS	ベンダー識別のためのベンダー固有の情報オプション。表 3 の cablelabs-125 サブオプションも参照してください。RFC 3925 を参照してください。
128	mcns-security-server	AT_IPADDR	DOCSIS 「フルセキュリティ」サーバーの IP アドレス。RFC 4578 を参照してください。
136	パナエージェント	AT_IPADDR (1+)	パナ認証エージェント DHCPv4 オプション。RFC 5192 を参照してください。
137	失われたサーバー	AT_DNSNAME	LoST サーバー DHCPv4 オプション。RFC 5223 を参照してください。
138	capwap-ac-v4	AT_IPADDR (1+)	CAPWAP AC DHCPv4 オプション。RFC 5417 を参照してください。
139	モスアドレス	AT_BLOB (0+)	DHCPv4 の MoS IPv4 アドレスオプション。RFC 5678 を参照してください。
140	モスト fqdn	AT_BLOB (0+)	DHCPv4 の MoS ドメイン名リストオプション。RFC 5678 を参照してください。

番号	Cisco Prime Network Registrar 名	検証	説明
141	一口ウアcsドメイン	AT_DNSNAME (0+)	DHCP SIP ユーザーエージェント設定サービスドメインオプション。RFC 6011 を参照してください。
142	andsf-v4	AT_IPADDR	DHCPv4 の ANDSF IPv4 アドレスオプション。RFC 6153 を参照してください。
143	リダイレクト	AT_TYPECNT (0+)	ブートストラップ・サーバーに対して、さらに構成を試みるために接続可能な1つ以上のURIをクライアントにプロビジョニングするために使用されます。RFC 8572 を参照してください。
144	ジオロック	AT_BLOB	DHCPv4 GeoLoc オプション。RFC 6225 を参照してください。
145	力を更新-ノンス可能	AT_INT8 (1+)	Forcerenew Nonce プロトコル機能オプション。RFC 6704 を参照してください。
146	選択	AT_BLOB	DNS ルックアップの順方向または逆引きの手順を実行するときに RDNSS に連絡できるリゾルバに通知するために使用されます。RFC 6731 を参照してください。
147	dots-ri	AT_DNSNAME	DHCPv4 DOTS Reference 識別子オプション。RFC 8973 を参照してください。
148	dots-address	AT_IPADDR (1+)	DHCPv4 DOTS アドレスオプション。RFC 8973 を参照してください。
150	tftp-server-address	AT_IPADDR (1+)	TFTP サーバーアドレスオプションの定義。RFC 5859 を参照してください。
151	status-code	AT_BLOB	DHCPBULKLEASEQUERY 要求のステータスに関して、マシンで読み取り可能な値を返すことができます。RFC 6926 を参照してください。
152	ベースタイム	AT_DATE	DHCPv4 サーバーからバルクリースクエリのリクエスト送信者に送信されるメッセージが作成された現在の時刻。RFC 6926 を参照してください。
153	start-time-of-state	AT_TIME	受信者は、IP アドレスが現在の状態に遷移した時刻を判別できます。RFC 6926 を参照してください。

番号	Cisco Prime Network Registrar 名	検証	説明
154	クエリ開始時刻	AT_DATE	DHCPv4サーバーに対するクエリの開始時刻を指定します。RFC 6926 を参照してください。
155	クエリ終了時刻	AT_DATE	DHCPv4サーバーに対するクエリの終了時刻を指定します。RFC 6926 を参照してください。
156	状態	AT_INT8	DHCPLEASEACTIVE および DHCPLEASEUNASSIGNED メッセージタイプで許可されているよりも詳細な情報を返すことができます。RFC 6926 を参照してください。
157	data-source	AT_INT8	DHCPLEASEACTIVE または DHCPLEASEUNASSIGNED メッセージ内のデータソースに関する情報が含まれます。RFC 6926 を参照してください。
158	v4-pcp-server	AT_BLOB	PCP サーバーの IPv4 アドレスのリストを設定するために使用されます。RFC 7291 を参照してください。
159	v4-portparams	AT_BLOB	DHCPv4 ポートパラメータオプション。RFC 7618 を参照してください。
160	captive-portal-old	AT_NSTRING	キャプティブポータルDHCPv4オプション。RFC 7710 を参照してください。
161	泥のURL	AT_NSTRING	IPv4 MUD URL クライアントオプション。RFC 8520 を参照してください。
162	Cisco クライアント要求ホスト名	AT_NSTRING	Cisco クライアントの要求ホスト名。RFC 3942 を参照してください。
163	シスコクライアント-最後のトランザクション時間	AT_INT	Cisco クライアントの最終トランザクション時刻RFC 3942 を参照してください。
185	vpn-id	AT_BLOB	VPN 識別子。RFC 3942 を参照してください。
209	pxelinux-コンフィグファイル	AT_NSTRING	構成ファイルオプション。RFC 5071 を参照してください。
210	pxelinux パス接頭辞	AT_NSTRING	パスプレフィックスオプション。RFC 5071 を参照してください。

番号	Cisco Prime Network Registrar 名	検証	説明
211	pxelinux-リポート時間	AT_TIME	リポート時間オプション。RFC 5071 を参照してください。
212	6rd	AT_BLOB	第6 DHCPv4 オプション。RFC 5969 を参照してください。
213	access-domain	AT_NSTRING	アクセスネットワークのドメイン名 DHCPv4 オプション RFC 5986 を参照してください。
220	サブネット-アロク	AT_TIME	サブネット割り当てオプション。RFC 6656 を参照してください。
221	シスコ-VPN ID	AT_NSTRING	DHCPv4 仮想サブネット選択オプション。RFC 6607 を参照してください。
251	シスコ自動設定	AT_RANGEBYTE	Cisco 自動設定オプション
255	終了	AT_NOLEN	バンダーフィールドの有効な情報の終わりを示します。RFC 2132 を参照してください。

Cisco Prime Network Registrar 名別 DHCPv4 オプション

次の表に、Cisco Prime Network Registrar 名ごとの DHCPv4 オプションを示します。オプションの検証の種類ごとに、番号で数値による DHCPv4 オプション (1 ページ) と相互参照し、[検証 (Validation)] 列を確認します。

表 2: Cisco Prime Network Registrar 名別 DHCPv4 オプション

Cisco Prime Network Registrar 名	番号	オプション名
6rd	212	IPv4 インフラストラクチャでの IPv6 の迅速な展開 (6rd)
access-domain	213	ネットワーク ドメイン名へのアクセス
すべてのサブネットローカル	27	すべてのサブネットがローカル
andsf-v4	142	DHCPv4 の場合の IPv4 アドレス
arp-cache-timeout	35	[ARP キャッシュ タイムアウト (ARP Cache Timeout)]
認証	90	認証
auto-configure	116	自動設定

Cisco Prime Network Registrar 名	番号	オプション名
ベースタイム	152	ベースタイム
bcmcs-サーバー-a	89	BCMCS Address
bcmcs サーバー-d	88	BCMCS Controller Domain
boot-file	67	起動ファイル名
ブートサイズ	13	起動ファイルサイズ
broadcast-address	36	ブロードキャスト アドレス
ケーブルラボ-クライアント構成	122	CableLabs クライアント設定
captive-portal	114	キャプティブポータル DHCPv4
captive-portal-old	160	キャプティブポータル DHCPv4
capwap-ac-v4	138	カプワップ AC
シスコ自動設定	251	Cisco 自動設定
シスコクライアント-最終トランザクション時間	163	Cisco クライアント最終トランザクション時間
シスコクライアント要求ホスト名	162	Cisco クライアント要求ホスト名
シスコ-VPN ID	221	Cisco VPN 識別子
クラスレス静的ルート	121	クラスレス静的ルート
client-fqdn	81	DHCP クライアント FQDN
クッキーサーバー	8	クッキーサーバー
data-source	157	data-source
デフォルト-ip-ttl	23	デフォルトの IP 存続時間
デフォルト-tcp-ttl	37	TCP デフォルト TTL
dhcp-class-identifier	60	ベンダー クラス ID
dhcp-client-identifier	61	Client-Identifier
dhcp リース時間	51	[IP アドレス リース時間 (IP Address Lease Time)]
メッセージサイズ	57	最大 DHCP メッセージ サイズ
dhcp メッセージ	72	メッセージ

Cisco Prime Network Registrar 名	番号	オプション名
dhcp-message-type	53	DHCP メッセージタイプ
dhcp オプション過負荷	52	オプション オーバーロード
dhcp-parameter-request-list	55	パラメータ要求リスト
dhcp 再バインド時間	59	Rebinding (T2) Time Value
dhcp 更新時間	58	更新 (T1) 時間値
dhcp-requested-address	50	Requested IP Address
DHCP サーバー識別子	54	Server Identifier
状態	156	IP アドレスの状態
dhcp-user-class-id	77	ユーザークラス ID
dhcp4o6-s46-saddr	109	DHCP 4o6 ソフトワイヤソースアドレス
domain-name	15	ドメイン名 (Domain Name)
domain-name-servers	6	ドメイン ネーム サーバー
ドメイン検索	119	ドメイン検索
dots-address	148	DHCPv4 DOTS Address
dots-ri	147	DHCPv4 DOTS Reference 識別子
終了	255	終了 (End)
拡張機能パス	18	拡張機能のパス
指サーバー	73	Finger サーバー
フォントサーバー	48	X ウィンドウ システム フォント サーバー
力を更新-ノンス可能	145	ノンス認証の強制更新
ジオコンフェ	123	ジオコンプ
ジオコンフィシビック	99	シビックアドレスの構成
ジオロック	144	不確実性を伴う地理空間の位置
host-name	12	ホスト名 (Host Name)
ieee802.3-encapsulation	36	Ethernet Encapsulation
印象づけるサーバー	10	インプレスサーバー

Cisco Prime Network Registrar 名	番号	オプション名
interface-mtu	26	インターフェイス MTU
ip-forwarding	19	IP 転送の有効化/無効化
ipv6-only-preferred	108	IPv6 専用優先
ircサーバー	74	IRC サーバー
iSNS	83	iSNS
ldap-url	95	Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) サーバー
log-servers	7	[ログ サーバー (Log Server)]
失われたサーバー	137	ロースト サーバー DHCPv4
lpr サーバー	9	LPR サーバー
lq 関連付け-ip	92	リースクエリ関連 IP アドレス
lq クライアント-最終トランザクション時間	91	リースクエリ クライアント トランザクション時間
マスクサプライヤー	30	マスクサプライヤー
マックス・ドグラム再構成	22	データグラムの最大リアセンブルサイズ
mcns-security-server	128	DOCSIS 「フルセキュリティ」 サーバーの IP アドレス
メリットダンプ	14	メリットダンプファイル
モバイル-ip-ホームエージェント	68	モバイル IP ホームエージェント
モスアドレス	139	MoS IPv4 アドレス
モスト fqdn	140	MoS ドメイン名リスト
泥のURL	161	IPv4 マッド URL
name-servers	5	[ネーム サーバー (Name Server)]
ネームサービス検索	117	ネームサービス検索
nds コンテキスト	87	NDS コンテキスト
nds-サーバー	85	NDS サーバー
nds ツリー	86	NDS ツリー名

Cisco Prime Network Registrar 名	番号	オプション名
ネットビオス-dd-サーバー	45	NetBIOS over TCP/IP データグラム配信サーバー
netbios-name-servers	44	NetBIOS over TCP/IP name server
netbios-node-type	46	NetBIOS over TCP/IP ノードタイプ
ネットビオススコープ	47	NetBIOS over TCP/IP Scope
ネットインフォ親サーバーアドイン	112	ネット情報親サーバー アドレス
ネットインフォ親サーバータグ	113	親サーバー タグ
ネットウェアアップドメイン	62	ネットウェア/IP ドメイン名
ネットウェア情報	63	ネットウェア/IP情報
nis+ドメイン	64	NIS+ ドメイン
nis+サーバー	65	ネットワーク インフォメーション サービス (NIS+) サービス
nis-ドメイン	40	NIS ドメイン
nis-サーバー	41	ネットワーク インフォメーション サービス (NIS) サービス
nntp サーバー	71	NNTP サーバー
非ローカル ソース ルーティング	20	非ローカル ソース ルーティング
nntp-servers	54	NTP サーバー (NTP Servers)
パッド	[0]	パッド
パナエージェント	136	パナ認証エージェント DHCPv4
パス-mtu エージング タイムアウト	24	パス MTU エージング タイムアウト
パス-mtu-プラトータブル	25	パス MTU 台台
マスク検出の実行	29	マスク検出の実行
ポリシー フィルター	21	ポリシーフィルタ
pop3-servers	70	POP3 サーバー
ポシックスタイムゾーン	100	IEEE 1003.1 文字列

Cisco Prime Network Registrar 名	番号	オプション名
pxe クライアント アーチ	93	クライアント システム アーキテクチャの種類
pxe クライアント-マシン ID	97	クライアントマシン識別子
pxe クライアント ネットワーク ID	94	クライアント ネットワーク インターフェイス識別子
pxelinux-コンフィグファイル	209	設定ファイル (Configuration File)
pxelinux パス接頭辞	210	パスプレフィックス
pxelinux-リブート時間	211	リブート時間
クエリ終了時刻	155	クエリ終了時刻
クエリ開始時刻	154	クエリ開始時刻
rapid-commit	80	迅速なコミット
選択	146	選択 DHCPv4
relay-agent-info	82	DHCP リレーエージェント情報
リソース ロケーション サーバー	11	リソースロケーションサーバー
root-path	17	ルートパス
ルーター発見	31	ルータ検出の実行
ルーター勧誘アドレス	32	ルータ要求アドレス
ルータ	3	ルータ
sip-servers	120	[SIPサーバー (SIP Servers)]
一口ウアcsドメイン	141	SIP UA コンフィグレーション サービスドメイン
slp-ディレクトリ-エージェント	78	SLP ディレクトリ エージェント
slp サービス スコープ	79	SLP サービス スコープ
smtp-servers	69	SMTP サーバー (SMTP Server)
start-time-of-state	153	start-time-of-state
static-routes	33	Static Route
status-code	151	状態コード

Cisco Prime Network Registrar 名	番号	オプション名
ストリートトークディレクトリ-アシスタンスサーバー	76	STDA サーバー
ストリートトークサーバー	75	ストリートトークサーバー
サブネット-アロク	220	サブネット割り当て
subnet-mask	1	サブネット マスク (Subnet Mask)
subnet-selection	118	サブネット選択
スワップサーバー	16	スワップサーバー
リダイレクト	143	DHCPv4 SZTP リダイレクト
tcp-キープアライブゴミ	39	TCP キープアライブ ガベージ
tcp キープアライブ間隔	38	TCP キープアライブ間隔
tftp-server	66	TFTP Server Name
tftp-server-address	150	TFTP サーバー アドレス
time-offset	2	オフセット時間 (Time Offset)
time-servers	4	Time Server
トレーラーカプセル化	34	Trailer Encapsulation
tzdb タイムゾーン	101	TZ データベース文字列
ユーザー認証	98	ユーザー認証
v-i-ベンダークラス	124	ベンダー識別ベンダー クラス
v-i-vendor-opts	125	ベンダー識別オプション
v4-pcp-server	158	DHCPv4 PCP サーバー
v4-portparams	159	DHCPv4 ポートパラメータ
vendor-encapsulated-options	43	ベンダー固有情報
vpn-id	185	VPN 識別子
www サーバー	72	WWWサーバー
x ディスプレイマネージャー	49	X ウィンドウシステムディスプレイマネージャー

番号順の DHCPv6 オプション一覧

次の表は、オプション番号でソートされた DHCPv6 オプションと、検証タイプを示しています。[検証] 列に表示されるオプションの検証の種類の詳細については、「[表 5: 検証タイプ \(41 ページ\)](#)」を参照してください。すべてのオプションパケットには、少なくともオプション長 (option-len) と可変長データフィールドが含まれます。また、表に示すように、追加のパラメーター設定を使用することもできます。これらのオプションの多くは RFC 8415 で説明されています。



(注) RFC 8415 は、以前の RFC である RFC 3315、RFC 3633、RFC 3736、RFC 4242、および RFC 7083 を組み込み、廃止しました。

表 3: 番号順の DHCPv6 オプション一覧

番号	Cisco Prime Network Registrar 名	検証	説明
1	client-identifier	AT_BLOB	クライアントとサーバー間のクライアントを識別する DUID。RFC 8415 を参照してください。
2	server-identifier	AT_BLOB	クライアントとサーバーの間のサーバーを識別する DUID。RFC 8415 を参照してください。
3	ia-na	AT_BLOB	関連するパラメーターとアドレスを含む一時アドレスオプション。パラメータは、一意の ID と、クライアントが IA 内のアドレスにアクセスする時間と、クライアントが利用可能な任意のサーバーにアクセスする時間（どちらもアドレスの有効期間を拡張するため）です。RFC 8415 を参照してください。
4	ia-ta	AT_BLOB	関連するパラメーターとアドレスを含む一時アドレス オプション。RFC 8415 を参照してください。

番号	Cisco Prime Network Registrar 名	検証	説明
5	イアアドル	AT_BLOB	IA_NAまたはIA_TAに関連付けられたIPv6アドレス。(IAADDRは、IA_NA オプションまたはIA_TA オプションのオプションフィールドにカプセル化する必要があります。IAADDR オプションには、優先および有効な有効期間フィールド、およびこのアドレスに固有のオプションをカプセル化するオプション・フィールドが含まれます。RFC 8415 を参照してください。
6	oro	AT_SHORT (0+)	オプション要求オプション(ORO)は、クライアントとサーバーの間のメッセージ内のオプションのリストを識別します。クライアントは、要請、要求、更新、再バインド、確認、または情報要求メッセージにこのオプションを含め、クライアントがサーバーから必要とするオプションについてサーバーに通知することができます。サーバーは、クライアントが要求する必要があるオプションの更新を示す再設定メッセージにこのオプションを含めることができます。RFC 8415 を参照してください。
7	環境設定	AT_INT8	サーバーは、クライアントが選択するサーバーに影響を与えるために、このオプションをクライアントに送信します。RFC 8415 を参照してください。
8	elapsed-time	AT_SHORT	クライアントは、このオプションをサーバーに送信して、クライアントがメッセージ交換を完了しようとしている時間を示します。RFC 8415 を参照してください。
9	リレーメッセージ	AT_BLOB	リレー転送メッセージまたはリレー応答メッセージのDHCPメッセージ。RFC 8415 を参照してください。
11	auth	AT_BLOB	DHCPメッセージのIDと内容を認証します。パラメータは、認証プロトコル、認証アルゴリズム、再生検出方法(RDM)、および認証情報です。RFC 8415 を参照してください。

番号	Cisco Prime Network Registrar 名	検証	説明
12	サーバーユニキャスト	AT_IP6ADDR	サーバーは、このオプションをクライアントに送信して、クライアントがサーバーにメッセージをユニキャストできることを示します。RFC 8415 を参照してください。
13	status-code	AT_BLOB	DHCP メッセージまたは DHCP メッセージが表示されるオプションに関連する状態を示すメッセージを返します。パラメータは、ステータス コードとステータス メッセージです。RFC 8415 を参照してください。
18	rapid-commit	AT_ZEROSIZE	アドレス割り当てに2つのメッセージ交換を使用するシグナルです。RFC 8415 を参照してください。
15	ユーザー クラス	AT_TYPECNT	クライアントはこのオプションを使用して、それが表すユーザーまたはアプリケーションの種類またはカテゴリを識別します。ゼロ型カウント値フィールドの後にユーザーデータ (BLOB として) が続く。RFC 8415 を参照してください。
16	vendor-class	AT_VENDOR_CLASS	クライアントは、このオプションを使用して、クライアントが稼働しているハードウェアを製造したベンダーを識別します。RFC 8415 を参照してください。
17	vendor-opts	AT_VENDOR_OPTS	クライアントとサーバーは、このオプションを使用して、ベンダー固有の情報を交換します。CableLabs ベンダーのエンタープライズ ID は 4491 です。ケーブルラボのサブオプションはに記載表 4 されています。RFC 8415 を参照してください。
18	interface-id	AT_BLOB	リレーエージェントはこのオプションを使用して、クライアントメッセージを受信するインターフェイスを識別します。RFC 8415 を参照してください。
19	再設定-メッセージ	AT_INT8	サーバーは、クライアントが更新または情報要求メッセージで応答する必要があるかどうかを示す再構成メッセージに、これを含めます。RFC 8415 を参照してください。

番号	Cisco Prime Network Registrar 名	検証	説明
20	再設定-受け入れる	AT_ZEROSIZE	クライアントはこのオプションを使用して、クライアントが再設定メッセージを受け入れるかどうかをサーバーに通知します。RFC 8415 を参照してください。
21	サブサーバー名	AT_DNSNAME (0+)	クライアントの SIP アウトバウンドプロキシサーバーのドメイン名。RFC 3319 を参照してください。
22	サブサーバーアドレス	AT_IP6ADDR (0+)	クライアントの SIP アウトバウンド・プロキシ・サーバーの IPv6 アドレス。RFC 3319 を参照してください。
23	dns-servers	AT_IP6ADDR (1+)	DNS 再帰ネームサーバーの IPv6 アドレス。RFC 3646 を参照してください。
24	domain-list	AT_DNSNAME (0+)	ドメイン検索リスト内のドメイン名。RFC 3646 を参照してください。
25	ia-pd	AT_BLOB	IPv6 プレフィックス委任 ID の関連付けと、関連するパラメーターとプレフィックス。パラメータは、一意の ID と、クライアントが IA 内のアドレスにアクセスする時間と、クライアントが利用可能な任意のサーバーにアクセスする時間（どちらもアドレスの有効期間を拡張するため）です。RFC 8415 を参照してください。
26	イアプレフィックス	AT_BLOB	IA_PD に関連付けられた IPv6 プレフィックス。プレフィックスは、IA_PD オプションのオプションフィールドにカプセル化する必要があります。パラメーターは、有効な有効期間と優先の有効期間、プレフィックス長、およびプレフィックスです。RFC 8415 を参照してください。
27	nis-サーバー	AT_IP6ADDR (1+)	クライアントで使用可能なネットワーク情報サービス (NIS) サーバーの IPv6 アドレスのリスト。RFC 3898 を参照してください。
36	サーバーを使用する	AT_IP6ADDR (1+)	クライアントで使用できる NIS+ サーバーの IPv6 アドレスのリスト。RFC 3898 を参照してください。

番号	Cisco Prime Network Registrar 名	検証	説明
29	nis-domain-name	AT_DNSNAME (1+)	NIS ドメイン名をクライアントに伝えます。RFC 3898 を参照してください。
30	nisp-domain-name	AT_DNSNAME (1+)	NIS+ ドメイン名をクライアントに伝えます。RFC 3898 を参照してください。
31	サーバー	AT_IP6ADDR (1+)	クライアントが使用できる簡易ネットワークタイム プロトコル (SNTP) サーバーの一覧。RFC 4075 を参照してください。
32	情報更新時間	AT_TIME	クライアントが DHCPv6 情報を更新するまで待機する時間の上限を設定します。RFC 8415 を参照してください。
33	bcmcs-サーバー-d	AT_DNSNAME (1+)	BCMCS コントローラ ドメインの一覧。RFC 4280 を参照してください。
34	bcmcs-サーバー-a	AT_IP6ADDR (1+)	ブロードキャストおよびマルチキャストサービス (BCMCS) コントローラの IPv6 アドレスのリスト。RFC 4280 を参照してください。
36	ジオコンフィシ ビック	AT_BLOB	DHCP 市民アドレスの構成。RFC 4776 を参照してください。
37	remote-id	AT_BLOB	交換回線または恒久回線を終了するリレーエージェントは、このオプションを追加してリモートホストを識別できます。RFC 4649 を参照してください。
38	relay-agent-subscriber-id	AT_BLOB	サブスクリバードメイン固有のアクションの割り当てとアクティブ化を許可します。RFC 4580 を参照してください。
39	client-fqdn	AT_BLOB	DHCP クライアントの FQDN。RFC 4704 を参照してください。
40	パナエージェント	AT_IP6ADDR (1+)	32 ビット (バイナリ) IPv4 アドレスのリストを持ち、PANA クライアント (PaC) が使用できる PANA 認証エージェント (PAA) を示します。RFC 5192 を参照してください。
41	新しいポシックス タイムゾーン	AT_NSTRING	POSIX 時間帯、たとえば EST5EDT4、M3.2.0/02:00、M11.1.0/02:00。RFC 4833 を参照してください。

番号	Cisco Prime Network Registrar 名	検証	説明
54	新しいtzdb タイムゾーン	AT_NSTRING	POSIX タイムゾーンデータベース名(ヨーロッパ/チューリッヒなど)。RFC 4833 を参照してください。
43	エロ	AT_SHORT (0+)	リレーエージェントエコー要求オプションを使用して、エコーバックするリレーエージェントオプションの一覧をサーバーに通知します。RFC 4994 を参照してください。
44	lq クエリ	AT_BLOB	リースクエリ メッセージでのみ使用されます。は、実行されているクエリを識別します。このオプションには、クエリの種類、リンク アドレス (0::0)、およびクエリに必要なデータを提供するオプションが含まれます。RFC 5007 を参照してください。
45	client-data	AT_CONTAINER6	単一のクライアントのデータを、単一のリンク上の LEASEQUERY-REPLY メッセージにカプセル化します。RFC 5007 を参照してください。
46	clt-time	AT_TIME	クライアント データ オプションにカプセル化されたクライアントの最後のトランザクション時間。は、サーバーがクライアントと最後に通信した時間 (秒単位) を示します。RFC 5007 を参照してください。
47	lq リレーデータ	AT_BLOB	リースクエリ応答メッセージでのみ使用されます。は、クライアントが最後にサーバーと通信したときに使用されるリレーエージェント データを提供します。RFC 5007 を参照してください。
48	lq クライアントリンク	AT_IP6ADDR (1+)	リースクエリ応答メッセージでのみ使用されます。は、クライアントが1つ以上のバインディングを持つリンクを識別します。リンク アドレスが指定されず、クライアントが複数のリンク上にあることが検出された場合、クエリに対する応答で使用されます。RFC 5007 を参照してください。

番号	Cisco Prime Network Registrar 名	検証	説明
49	mip6-hnidf	AT_DNSNAME	ホーム ネットワーク ID の FQDN オプションを定義します。RFC 6610 を参照してください。
50	mip6-vdinf	AT_CONTAINER6	[訪問先のホーム ネットワーク情報] オプションを定義します。RFC 6610 を参照してください。
51	失われたサーバー	AT_DNSNAME	DHCPv6 クライアントは、Options Request Option (ORO) で LoST サーバードメイン名を要求します (RFC 8415 を参照)。 このオプションには単一のドメイン名が含まれ、正確に1つのルートラベルを含める必要があります。RFC 5223 を参照してください。
52	capwap-ac-v6	AT_IP6ADDR (1+)	128 ビット(バイナリ)IPv6 アドレスのリストを持ち、ワイヤレス ターミネーション ポイント(WTP)で使用可能なワイヤレスアクセスポイント(CAPWAP)アクセス コントローラ (AC)の1つまたは複数の制御およびプロビジョニングを示します。RFC 5417 を参照してください。
53	リレー ID	AT_BLOB	DHCPv6サーバーは、リレー転送メッセージからリレー ID オプションを、その結果として処理されるプレフィックスの委任やリースバインディングに関連付けることができます。RFC 5460 を参照してください。
54	モスアドレス	AT_IP6ADDR	DHCPv4 のモビリティセバー(MoS)IPv6 アドレス。RFC 5678 を参照してください。
55	モスト fqdn	AT_BLOB	DHCPv6 のモビリティセバー(MoS)ドメイン名リスト。RFC 5678 を参照してください。

番号	Cisco Prime Network Registrar 名	検証	説明
56	ntp-server	AT_BLOB	<p>1台のネットワークタイムプロトコル(NTP)サーバーまたは簡易ネットワークタイムプロトコル(SNTP)サーバーに関連するサーバーの場所情報のコンテナとして機能します。このオプションは、DHCPv6メッセージに複数回表示される場合があります。このオプションの各インスタンスは、NTPクライアントまたはSNTPクライアントが構成に含めるサーバーとして考慮されます。</p> <p>オプション自体には値が含まれていません。代わりに、NTPサーバーまたはSNTPサーバーの場所を伝送する1つまたは複数のサブオプションが含まれています。RFC 5908を参照してください。</p>
57	access-domain	AT_DNSNAME	<p>アクセスネットワークに関連付けられたドメイン名を定義します。このオプションには単一のドメイン名が含まれ、1つのルートレベルを含める必要があります。RFC 5986を参照してください。</p>
58	一口ウアcsドメイン	AT_DNSNAME (0+)	<p>セッション開始プロトコル(SIP)ユーザーエージェント構成サービスドメイン内のドメイン名の一覧を定義します。RFC 6011を参照してください。</p>
59	ブートファイル-URL	AT_NSTRING	<p>ブートファイルのURLについてクライアントに通知します。RFC 5970を参照してください。</p>
60	ブートファイルパラム	AT_TYPECNT (0+)	<p>サーバーからクライアントに送信されます。ブートファイルのパラメータを指定するための複数のUTF-8(RFC 3629を参照)文字列で構成されています。RFC 5970を参照してください。</p>
61	クライアント・アーキ・タイプ	AT_SHORT (1+)	<p>DHCPv4に定義されたクライアントシステムアーキテクチャタイプオプション(オプション93)とのパリティを提供します。RFC 5970を参照してください。</p>

番号	Cisco Prime Network Registrar 名	検証	説明
62	nii	AT_BLOB	DHCPv4 に定義されたクライアント ネットワーク インターフェイス識別子オプション (オプション94)とのパリティを提供します。RFC 5970 を参照してください。
63	ジオロック	AT_BLOB	サーバーによって提供されるクライアントの座標ベースの地理的位置を指定します。RFC 6225 を参照してください。
64	aftr-name	AT_DNSNAME	AFTR トンネルエンドポイントの完全修飾ドメイン名を定義します。RFC 6334 を参照してください。
65	erp-local-domain-name	AT_DNSNAME	ローカルERP ドメインの名前が含まれます。RFC 6440 を参照してください。
66	ルサー	AT_CONTAINER6	リレー エージェントが DHCPv6 サーバーに提供するオプションをカプセル化します。RFC 6422 を参照してください。
67	pd除外	AT_BLOB	デリゲートされたプレフィックスから1つのプレフィックスを除外するために使用します。RFC 6603 を参照してください。
68	vpn-id	AT_BLOB	VPN を識別するために使用されます。RFC 6607 を参照してください。
69	mip6-idinf	AT_CONTAINER6	識別されたホームネットワークに関する情報を提供するために、リレーエージェントおよび DHCP サーバーによって使用されます。RFC 6610 を参照してください。
70	mip6-udinf	AT_CONTAINER6	DHCP サーバー管理者によって指定されたホームネットワークに関する情報を提供します。RFC 6610 を参照してください。
71	mip6-hnp	AT_BLOB	ホームネットワークのプレフィックスを定義します。RFC 6610 を参照してください。
72	mip6-haa	AT_IP6ADDR	DHCP サーバーおよびリレーエージェントがホーム エージェントの IP アドレスを指定するために使用します。RFC 6610 を参照してください。

番号	Cisco Prime Network Registrar 名	検証	説明
73	mip6-haf	AT_DNSNAME	ホーム エージェントの FQDN を指定して、必要に応じて、ホーム エージェントの IPv4 または IPv6 アドレスを含む 1 つまたは複数の A または AAAA レコードを検索します。RFC 6610 を参照してください。
74	選択	AT_BLOB	DNS 参照の順方向または逆引きの手順を実行するときに RDNS に連絡できるリゾルバに通知します。RFC 6731 を参照してください。
75	krb プリンシパル名	AT_BLOB	クライアントが DHCPv6 サーバーに送信し、クライアントまたは Kerberos アプリケーション・サーバーの特定の構成パラメーターのセットを選択するためにクライアントを使用します。RFC 6784 を参照してください。
76	krb-レルム名	AT_NSTRING	クライアントがアクセスするレルムを DHCPv6 サーバーに指定します。RFC 6784 を参照してください。
77	krb-default-realm-name	AT_NSTRING	Kerberos システム (クライアントおよび Kerberos アプリケーション・サーバー) のデフォルト・レルム名を指定します。RFC 6784 を参照してください。
78	クラブ-クdc	AT_BLOB	KDC に関する構成情報を提供します。RFC 6784 を参照してください。
79	client-linklayer-address	AT_BLOB	クライアント リンク レイヤアドレスを示します。RFC 6939 を参照してください。
80	link-address	AT_IP6ADDR	クライアントが存在するリンクをサーバーに示します。RFC 6977 を参照してください。
81	radius	AT_BLOB	DHCPv6 リレー エージェントと DHCPv6 サーバーの間で承認および識別情報を交換するメカニズムを提供します。RFC 7037 を参照してください。
82	ゾルマックス-rt	AT_TIME	sol-max-rt のデフォルト値をオーバーライドします。RFC 8415 を参照してください。
83	インフ-マックス-rt	AT_TIME	inf-max-rt のデフォルト値をオーバーライドします。RFC 8415 を参照してください。

番号	Cisco Prime Network Registrar 名	検証	説明
84	アドルセル	AT_BLOB	ポリシーテーブルと、その他の構成パラメータを提供します。RFC 7078 を参照してください。
85	アドルセルテーブル	AT_BLOB	アドレス選択ポリシー テーブル オプションを提供します。RFC 7078 を参照してください。
86	v6-pcp-server	AT_IP6ADDR (1+)	PCP サーバーの IPv6 アドレスのリストを構成します。このオプションは単一インスタンスのみをサポートします。RFC 7291 を参照してください。
87	dhcpv4-msg	AT_BLOB (0+)	クライアントまたはサーバーによって送信される DHCPv4 メッセージを運びます。このようなメッセージは、IP ヘッダーまたは UDP ヘッダーを除外します。RFC 7341 を参照してください。
88	dhcp4-o-dhcp6-server	AT_IP6ADDR (0+)	クライアントが IPv4 構成を取得するために接続する必要がある DHCP 4o6 サーバーの IPv6 アドレスのリストを持ちます。RFC 7341 を参照してください。
89	s46-rule	AT_BLOB	基本マッピングルール(BMR)と転送マッピングルール(FMR)を伝達します。RFC 7598 を参照してください。
90	s46-br	AT_IP6ADDR	ボーダーリレーの IPv6 アドレスを伝えます。RFC 7598 を参照してください。
91	s46-dmr		デフォルト マッピングルール(DMR)の値を伝達します。RFC 7598 を参照してください。
92	s46-v4v6bind	AT_BLOB	CE の完全または共有 IPv4 アドレスを指定します。IPv6 プレフィックス フィールドは、トンネルソースに使用する正しいプレフィックスを識別するために CE によって使用されます。RFC 7598 を参照してください。
93	s46-portparams	AT_BLOB	CEに提供される可能性のあるオプションのポートセット情報を指定します。RFC 7598 を参照してください。

番号	Cisco Prime Network Registrar 名	検証	説明
94	s46-cont-mape	AT_CONTAINER6	指定したドメインのすべてのルールとオプションのポートパラメータをグループ化するために使用するコンテナを指定します (Softwire46 MAP-E ドメイン)。RFC 7598 を参照してください。
95	s46-cont-mapt	AT_CONTAINER6	指定したドメインのすべてのルールとオプションのポートパラメータをグループ化するために使用するコンテナを指定します (Softwire46 MAP-T ドメイン)。RFC 7598 を参照してください。
96	s46-cont-lw	AT_CONTAINER6	指定したドメインのすべてのルールとオプションのポートパラメータをグループ化するために使用するコンテナを指定します (Softwire46 Lightweight 4over6 ドメイン)。RFC 7598 を参照してください。
97	4rd	AT_CONTAINER6	4rd (IPv4 残留展開) の DHCPv6 オプションを示します。RFC 7600 を参照してください。
98	4rd-map-rule	AT_BLOB	4rd ドメインのマッピングルールパラメータを示します。RFC 7600 を参照してください。
99	4rd-non-map-rule	AT_BLOB	4rd ドメインの非マッピングルールパラメータを示します。RFC 7600 を参照してください。
100	lqベースタイム	AT_INT	要求者がアクティブクエリまたはバルクリースクエリ要求で同じことを要求した場合、DHCPv6 サーバーによってアクティブクエリまたはバルクリースクエリの要求者に送信されるメッセージが作成された現在時刻。RFC 7653 を参照してください。
101	lq-開始時間	AT_INT	DHCPv6 サーバーに対する照会開始時刻を指定します。RFC 7653 を参照してください。
102	lq終了時刻	AT_INT	DHCPv6 サーバーに対するクエリの終了時刻を指定します。RFC 7653 を参照してください。

番号	Cisco Prime Network Registrar 名	検証	説明
103	captive-portal	AT_NSTRING	クライアントにキャプティブポータル の背後に配置されていることを通知し、認証ページにアクセスするための URI を提供します。RFC 7710 を参照してください。
104	mpl パラメータ	AT_BLOB (0+)	DHCP サーバーによって管理されるネットワーク内の MPL ドメインの構成またはすべての MPL ドメイン(ワイルドカード)のデフォルト値を配布する手段を提供します。RFC 7774 を参照してください。
105	アニアット	AT_BLOB	クライアントがネットワークに接続するために使用するアクセステクノロジーの種類を交換するために使用されます。RFC 7839 を参照してください。
106	ani-ネットワーク名	AT_NSTRING	モバイルノードが接続されているアクセスネットワークの名前。RFC 7839 を参照してください。
107	アニ・アップ・ネーム	AT_NSTRING	モバイルノードが接続されているアクセスポイントの名前(物理デバイス名)。RFC 7839 を参照してください。
108	アニ・アップ・ブシド	AT_BLOB	モバイルノードが接続されているアクセスポイントの 48 ビット基本 SSSID (BSSID)。RFC 7839 を参照してください。
109	ani演算子 ID	AT_BLOB	ネットワークバイト順でエンコードされた可変長のプライベート・エンタープライズ番号 (PEN)。RFC 7839 を参照してください。
110	アニ演算子レルム	AT_NSTRING	演算子の領域。RFC 7839 を参照してください。
111	s46-priority	AT_SHORT (1+)	IPv4 サービス継続性メカニズムの優先順位を示します。RFC 8026 を参照してください。
112	泥のURL	AT_NSTRING	既存のツールセットでポリシーを簡単に見つけることができるように、ネットワークに対する Thing の種類を構造化された方法で識別します。RFC 8520 を参照してください。

番号	Cisco Prime Network Registrar 名	検証	説明
113	prefix64	AT_BLOB	IPv4 埋め込み IPv6 アドレスを合成するために使用される IPv6 プレフィックス (例えば、mB4) を伝えます。RFC 8115 を参照してください。
135	リレーポート	AT_SHORT	DHCPv6 用のリレー送信元ポート オプション。これは、特殊なサーバー処理を必要とし、「構成可能」オプションではありません。オプションは、リレーエージェントによって追加され、Relay-Reply でサーバーによってエコーされ、リレーを介してリレーに応答を返すためにサーバー内の特殊な処理が必要です。リレーパケットの送信元ポート。RFC 8357 を参照してください。
136	リダイレクト	AT_TYPECNT (0+) (URI 文字列のリスト)	ブートストラップ・サーバーに対して、さらに構成を試みるために接続可能な 1 つ以上の URI をクライアントにプロビジョニングするために使用されます。RFC 8572 を参照してください。
137	s46-bind-ipv6-prefix	AT_VPREFIX	DHCPv6 ソフトワイヤー ソース バインディングプレフィックスヒントオプション。RFC 8539 を参照してください。
141	dots-ri	AT_DNSNAME	DHCPv6 DOTS Reference 識別子オプション。RFC 8973 を参照してください。
142	dots-address	AT_IP6ADDR (1+)	DHCPv6 DOTS Address オプション。RFC 8973 を参照してください。
143	ipv6-address-andsf	AT_IP6ADDR (1+)	モバイル・ノード (MN) が ANDSF サーバーを検索できるようにします。RFC 6153 を参照してください。

Cisco Prime Network Registrar 名別 DHCPv6 オプション

次の表に、Cisco Prime Network Registrar 名ごとの DHCP オプションを示します。オプションの検証の種類ごとに、番号で番号順の DHCPv6 オプション一覧 (22 ページ) と相互参照し、[検証 (Validation)] 列を確認します。

表 4 : Cisco Prime Network Registrar 名別 DHCPv6 オプション

Cisco Prime Network Registrar 名	番号	オプション名
4rd	97	IPv6 経由の IPv4 残留展開 (4 番目)
4rd-map-rule	98	第4マップルール
4rd-non-map-rule	99	第4回非地図ルール
access-domain	57	ネットワーク ドメイン名へのアクセス
アドルセル	84	アドレスの選択
アドルセルテーブル	85	アドレス選択ポリシー テーブル
aftr-name	64	AFTR トンネル エンドポイント ドメイン名
アニ・アップ・ブシド	108	DHCPv6 アクセス ポイント-BSSID
アニ・アップ・ネーム	107	DHCPv6 アクセスポイント名
アニアット	105	DHCPv6 アクセステクノロジータイプ
ani-ネットワーク名	106	DHCPv6 ネットワーク名
ani演算子 ID	109	DHCPv6 オペレーター ID
アニ演算子レルム	110	DHCPv6 オペレータ レルム
auth	11	認証
bcmcs-サーバー-a	34	BCMCS アドレス v6
bcmcs-サーバー-d	33	BCMCS コントローラ ドメイン v6
ブートファイルパラム	60	起動ファイルパラメータ
ブートファイル-URL	59	起動ファイルの Uniform Resource Locator (URL)
captive-portal	103	キャプティブポータル DHCPv6
capwap-ac-v6	52	カプワップ AC
クライアント・アーチ・タイプ	61	クライアント システム アーキテクチャの種類
client-data	45	リースクエリ応答クライアント データ
client-fqdn	39	DHCP クライアント FQDN

Cisco Prime Network Registrar 名	番号	オプション名
client-identifier	1	Client Identifier
クライアントリンクレイヤー アドレス	79	DHCPv6 クライアントリンク層アドレス
clt-time	46	リースクエリ クライアントの最後のトランザクション時刻
dhcp4-o-dhcp6-server	88	DHCP 4o6 サーバーアドレス
dhcpv4-msg	87	DHCPv4 メッセージ
dns-servers	23	DNS 再帰ネームサーバー
domain-list	24	ドメイン検索リスト (Domain Search List)
dots-address	142	DHCPv6 DOTS Address
dots-ri	141	DHCPv6 DOTS Reference Identifier
elapsed-time	8	経過時間 (Elapsed Time)
エロ	43	リレー エージェントエコー要求オプション
erp-ローカル・ドメイン名	65	ローカル ERP ドメイン名
ジオコンフィシビック	36	シビックアドレスの構成
ジオロック	63	位置情報 (GeoLocation)
ia-na	3	非一時アドレスの ID アソシエーション
ia-pd	25	プレフィックス委任
ia-ta	4	一時アドレスの ID アソシエーション
イアアドル	5	IA アドレス
イアプレフィックス	26	IA プレフィックス
インフ-マックス-rt	83	最大情報要求タイムアウト
情報更新時間	32	情報更新時間
interface-id	18	インターフェイス ID
ipv6-address-and-sf	143	アンドスフ IPv6 アドレス
krb-デフォルト領域名	77	ケルベロスレルム名
クラブ-クdc	78	ケルベロス KDC

Cisco Prime Network Registrar 名	番号	オプション名
krb プリンシパル名	75	ケルベロスプリンシパル名
krb-レルム名	76	Kerberos Realm Name
link-address	80	リンクアドレス
失われたサーバー	51	ロケーションからサービスへの変換(LoST) サーバー DHCPv6
lqベースタイム	100	リースクエリベースタイム
lq クライアントリンク	48	リースクエリ クライアント リンク 応答
lq終了時刻	102	リースクエリ終了時刻
lq クエリ	44	リースクエリ
lqリレーデータ	47	リースクエリ リレー エージェントの応答
lq-開始時間	101	リースクエリの開始時刻
mip6-haa	72	MIPv6 ホームエージェントアドレス
mip6-haf	73	MIPv6 ホーム エージェント FQDN
mip6-hnidf	49	MIPv6 ホーム ネットワーク ID FQDN
mip6-hnp	71	MIPv6 ホーム ネットワーク プレフィックス
mip6-idinf	69	MIPv6 によって識別されたホーム ネットワーク情報
mip6-udinf	70	MIPv6 無制限ホーム ネットワーク情報
mip6-vdinf	50	MIPv6 訪問ホームネットワーク情報
モスアドレス	54	MoS IPv6 アドレス
モスト fqdn	55	MoS ドメイン名リスト
mpl パラメータ	104	MPL パラメーター
泥のURL	112	IPv6 マッド URL
新しいポシックスタイムゾーン	41	POSIX タイムゾーン文字列
新しい tzdb タイムゾーン	54	POSIX タイム ゾーン データベース名

Cisco Prime Network Registrar 名	番号	オプション名
nii	62	クライアントネットワーク インターフェイス識別子
nis-domain-name	29	NISドメイン名
nis-サーバー	27	NIS サーバー
nisp-domain-name	30	NIS+ ドメイン名
サーバーを使用する	36	NIS+ サーバー
ntp-server	72	メッセージ
oro	6	オプションリクエストオプション
パナエージェント	40	パナ認証エージェント DHCPv6
pd除外	67	プレフィックスの除外
環境設定	7	設定
prefix64	113	Prefix64
radius	81	DHCPv6 の半径
rapid-commit	14	迅速なコミット
選択	74	選択 DHCPv6
再設定-受け入れる	20	再設定の承認
再設定-メッセージ	19	再設定メッセージ
リレーエージェントサブスクリバード	38	リレーエージェントのサブスクリバード
リレー ID	53	リレー ID
リレーメッセージ	9	リレー メッセージ
リレーポート	135	リレー送信元ポート
remote-id	37	リレー エージェントのリモート ID
ルルー	66	リレー提供オプション
s46-br	90	ソフトワイヤー46(S46)ボーダーリレー(BR)
s46-cont-lw	96	S46軽量4オーバー6コンテナ
s46-cont-mape	94	S46 MAP-E コンテナ

Cisco Prime Network Registrar 名	番号	オプション名
s46-cont-mapt	95	S46 MAP-T コンテナ
s46-dmr	91	S46 デフォルト マッピング ルール (DMR)
s46-portparams	93	S46 ポートパラメータ
s46-priority	111	S46 優先順位
s46-rule	89	S46 ルール
s46-v4v6bind	92	S46 IPv4/IPv6 アドレス バインディング
s46- bind-ipv6-prefix	137	DHCPv6 ソフトワイヤー ソース バインディング プレフィックス ヒント
server-identifier	2	DHCPv6 サーバー識別子
サーバー ユニキャスト	12	サーバーユニキャスト
サブサーバーアドレス	22	SIP サーバー IPv6 アドレス一覧
サブサーバー名	21	SIP サーバーのドメイン名リスト
一口ウアcsドメイン	58	SIP ユーザー エージェント構成サービスドメイン
サーバー	31	SNTP 設定
ゾルマックス-rt	82	SOL_MAX_RT
status-code	13	状態コード
リダイレクト	136	DHCPv6 SZTP リダイレクト
ユーザー クラス	15	User クラス
v6-pcp-server	86	DHCPv6 PCP サーバー
vendor-class	16	ベンダークラス
vendor-opts	17	ベンダー固有情報
vpn-id	68	VPN 識別子

オプションの検証タイプ

次の表に、DHCP オプションの検証の種類を示します。カスタム オプションを定義するために、それらの一部を使用できないことに注意してください。

表 5: 検証タイプ

検証	説明 - Web UI の同等
AT_BLOB	バイナリバイトの一覧-バイナリ
AT_BOOL	ブール値 - ブール値
AT_CONTAINER6	DHCPv6 オプション コンテナ (カスタム オプションには使用できません)
AT_DATE	日付を表すバイト数 (日付)
AT_DNSNAME	DNS 名 : DNS 名
AT_INT	符号なし 32 ビット整数 - 符号なし 32 ビット
AT_INT8	8 ビット整数 : 符号なし 8 ビット
AT_INTI	符号なし 32 ビット整数 (Intel) - 符号なし 32 ビット (インテル)
AT_IPADDR	32 ビット IP アドレス:IP アドレス
AT_IP6ADDR	128 ビット IPv6 アドレス— IPv6 アドレス
AT_MACADDR	MAC アドレスを表すバイト—MAC アドレス
AT_MESSAGE	符号なし 8 ビット メッセージ (カスタム オプションでは使用できません)
AT_NOLEN	長さなし (PAD と END の場合のみ)
AT_NSTRING	ASCII 文字のシーケンス - 文字列
AT_OVERLOAD	オーバーロードバイト (カスタム オプションには使用できません)
AT_RANGEBYTE	バイトの範囲 (カスタム オプションには使用できません)
AT_RANGESHORT	ショート範囲 (カスタム オプションには使用できません)
AT_RDNSNAME	相対 DNS 名 — 相対 DNS 名
AT_SHORT	符号なし 16 ビット整数 - 符号なし 16 ビット
AT_SHRTI	符号なし 16 ビット整数 (Intel) - 符号なし 16 ビット (インテル)
AT_SINT	符号付き 32 ビット整数 - 符号付き 32 ビット
AT_SINT8	8 ビット整数 - 符号付き 8 ビット
AT_SINTI	符号付き 32 ビット整数 (Intel) - 符号付き 32 ビット (インテル)
AT_SSHORT	符号付き 16 ビット整数 - 符号付き 16 ビット

検証	説明 - Web UI の同等
AT_SSHRTI	符号付き 16 ビット整数 (インテル) - 符号付き 16 ビット (インテル)
AT_STIME	時間を表す符号付き 32 ビット符号付き整数 - 符号付き時間
AT_STRING	ASCII 文字の無制限シーケンス - 文字列
AT_TIME	時間を表す符号なし 32 ビット整数 : 符号なしの時間
AT_TYPECNT	2つの子定義を必要とする型: 型フィールドのサイズとデータの型 - カウント型: DHCPv4 dhcp-user-class-id オプション (77) の場合、繰り返しパターンは次のようになります。 [len (1 byte)] [data, of single type] DHCPv6 ユーザー・クラス・オプション (15) の場合、繰り返しパターンは次のようになります。 [len (2 byte)] [data, of single type]
AT_VENDOR_CLASS	ベンダー クラス オプション (エンタープライズ ID の後に不透明データが続く、DHCPv4 の場合はエンタープライズ ID の後に EID 長さ) - ベンダー クラス
AT_VENDOR_OPTS	ベンダー固有のオプション・データ (エンタープライズ ID にベンダー固有データの TLV が続くもの、DHCPv4 の場合はエンタープライズ ID の後に EID 長さ) - ベンダーが選択
AT_VPREFIX	IPv6 可変長プレフィックス
AT_ZEROSIZE	32 ビットのゼロ・サイズ (PAD および END では使用されなくなった)



- (注) AT_TIMEは、デフォルトで秒単位で入力された値を受け取ります。たとえば、60 と入力すると、60秒と見なされます。60s、60m、2h、3d、4w、または1yと入力すると、それぞれ60秒、60分、2時間、2日、4週間、または1年と見なされ、60s、60m、2h、2d、4w、または1yと表示されます。10m30sなどの値を使用することもできます。この場合、値は630秒になり、10m30sと表示されます。